

# 日本と英国の架け橋を担い続けるシュローダー

1870年 — 日本初の国債発行

## 日本と英国をつなぐ歴史

1870年(明治3年)、鉄道敷設のために日本政府が初めて発行した

国債の主幹事をシュローダーが担いました。

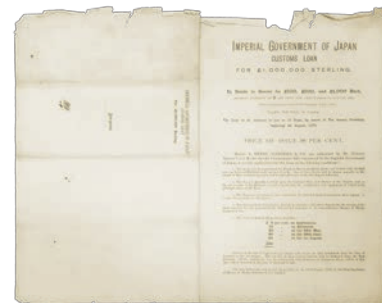
それから150年以上経った現在でも、シュローダーは資産運用業務を通じて

日本と英国の架け橋を担い続けています。



## なぜ日本初の国債は英国ポンド建てで発行されたのか

1864年、英国留学から帰国した伊藤博文、井上馨らは鉄道敷設の必要性を提唱し、駐日英国公使の助言を得て、具体化に着手しました。鉄道敷設の資金調達を国内で行おうとしましたが、政府紙幣の大量発行でインフレが進行、さらに、当時は貨幣制度が統一されておらず、政府紙幣の他にも多様な紙幣があり、国債が発行できる状況ではありませんでした。こうしたことから、国内での資金調達が困難だったため、海外で行う必要があったのです。



1870年(明治3年)募集時の目論見書

## 各国の鉄道敷設に貢献してきたシュローダー

シュローダーが初めて担った国債の主幹事は、1853年、キューバにおける新たな鉄道敷設の資金調達によるものでした。砂糖産業が盛んだったキューバでは、砂糖を運ぶために多くの鉄道路線が必要だったためです。シュローダーでは、以降数十年にわたり、米国、欧州、アジアの各地における鉄道やその他インフラストラクチャー向けの資金調達に貢献してきました。



### シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第90号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本冊子は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が作成した冊子であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を目的とするものではありません。シュローダー/Schrodersとは、シュローダーplcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。本冊子を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。

# 日本の発展とともに歩んできたシュローダー

1922

エドワード皇太子が訪日。

1902

日英同盟調印。

1900

夏目漱石が英国に留学。

1883

明治16

1870年発行の国債償還。  
当時の大蔵大臣、松方正義から感謝状を受領。



国債償還時に受領した感謝状

1872

日本初の鉄道が開通。岩倉使節団が英国を訪問。

1870

明治3

日本初の鉄道敷設のため日本政府が  
初めて発行した国債（100万ポンド）の主幹事を担当。

1869

アルフレッド王子が訪日（近代日本を訪日した初の国賓）。

1858

日英修好通商条約調印。

1854

日英和親条約調印。



日本政府が計画した鉄道路線図



新橋駅—横浜駅（現桜木町駅）間  
鉄道開通記念式典の様様



J. H. シュローダー

1818

J. ヘンリー・シュローダー・アンド・カンパニー設立。

1804

シュローダー・グループ創業。

J. H. シュローダーがJ. F. シュローダー・アンド・カンパニー  
の共同経営者に就任。

2020

日本初の国債発行から150周年

2012

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社に  
商号変更。

1992

公募投資信託第1号ファンドの運用を開始。

1991

国内年金(公的年金)から初の運用を受託。

1986

チャールズ皇太子・ダイアナ妃夫妻が訪日。

1985

株式会社シュローダー・インベストメント・マネージメント設立。  
資産運用業務を開始。

1975

エリザベス女王夫妻が英国王として史上初訪日。

1974

東京事務所を開設。日本経済や株式の調査業務を開始。

1966

ザ・ビートルズが日本公演を実施。

1960

日英文化協定調印。

1951

英国を含む48カ国とサンフランシスコ平和条約締結。

1924

関東大震災復興債券の幹事団に参画。

大正13

